

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校～

150周年記念式典

11月30日(土)、エスパスホールで「150周年記念式典」が開催されました。真庭市長、真庭市教育長、歴代校長、歴代PTA会長、学校運営協議会委員、鳥取遷喬小学校の校長先生とPTA役員と5・6年生、本校の全校児童と教職員とで、盛大に祝うことができました。

6年生のはきはきとした司会進行と児童代表あいさつ、5年生の息のあった銭太鼓、1年生から4年生の温かくかわいらしい「お祝いメッセージ動画」、メインの6年生による、遷喬小学校のお宝を伝える劇、どれも素晴らしい内容でした。特に、6年生の劇の中での、「魔法のジュータン」を全校児童で合唱したときと、式典の最後に全員で校歌を合唱したときには、エスパスホールに響き渡る子どもたちの歌声に感動し、自然に涙があふれてきました。参加して下さった来賓の皆様からも、子どもたちのがんばる姿、歌声にとっても感動したと感想をいただきました。

前回の学校だよりでお伝えしたように、「全校児童の子どもたちが式典に参加することで150周年の節目に遷喬小に在学していた思い出にすることと、歴史と伝統のある遷喬小への誇りをもって今後の小学校生活をより前向きに送ってもらうこと」に十分つながる式典になったのではと思います。

150周年記念式典での式辞の一部をお伝えさせていただきます。

今日まで遷喬小学校を支えて下さった全ての方々に、心から感謝申し上げます。地域の皆さま、歴代の校長先生や教職員の方々、そして何よりも歴代のPTA会長の皆様をはじめ、この学校に通い、学び、育ってきた多くの子どもたちのご家族に感謝の意を表します。

遷喬小学校は、明治七年に設立されて以来、地域の教育の中心校として、これまでに9160名の子どもたちがここで学び、巣立っていきました。150年間の歩みの中で、時代の変化と共に教育の形も変わりましたが、遷喬小学校の校名の由来である「幽谷より出でて、喬木にのぼる」にこめられた「困難に打ち勝ち、世のため、人のために役立つ立派な人に育っていく」ことを目指す教育理念は、変わることなく受け継がれてきました。

150年という長い歴史の中で、幾多の困難もありましたが、遷喬小学校は、地域の温かい支援と教職員の努力により、その度に乗り越え、成長を続けてまいりました。この節目にあたり、さらに地域の皆さまとの絆を深め、共につぎの未来を創り上げていければと思います。



6年司会進行

開会あいさつ



6年代表児童



5年「銭太鼓」



1年～4年「お祝いメッセージ動画」



式辞



祝辞



本校卒業生
豆原一成さんから
「お祝いメッセージ動画」

6年生「ルパン三世～遷喬小学校お宝返却大作戦～」



作詞・作曲 奥山先生と「魔法のジュータン」合唱



6年代表児童
閉会あいさつ

記念クリアファイル・記念パンフレット

150周年記念として、全校児童とご来賓の皆様に、記念クリアファイルと記念パンフレットを配りました。記念パンフレットには、本校の沿革史や全校児童数の推移、今年度の学校だよりでお伝えしてきた「150年の軌跡」等を載せています。



第59回遷喬交歓会

記念式典後に、鳥取遷喬小学校と59年続いている交歓会を行いました。鳥取遷喬小学校の5・6年生と本校の6年生が参加し交流しました。交流会では、本校6年生が校舎内を案内した後、記念の写真立てづくりや、体育館でボッチャをしました。チームに分かれボッチャをしているときには、どちらの小学校の児童か見分けがつかないくらい自然にゲームを楽しんでいました。

交歓会の企画・準備・運営をしてくださった6年生PTA役員の皆様、PTA執行部の皆様、ありがとうございました。



開会あいさつ



学校案内と記念写真



写真立てづくり



ボッチャで交流



鳥取遷喬児童による学校の紹介



閉会あいさつ



お互い「遷喬」でがんばろう！

